

令和4年第11回 教育委員会会議 定例会 会議録

1 日時 令和4年10月17日(月) 16時05分～16時30分

2 場所 教育委員会会議室

3 出席者

教育長 武井政一

委員 上田敬子(議長)、大隈恵子、高石双樹、安永卓生

事務局職員

教育部長(山田哲史)、教育総務課長(梶原康治)、学校教育課長(桑原昭佳)、
学校教育課長補佐(平田隆輔、野見山和久、有吉ひろみ)、学校給食課長(宮本敏行)、
生涯学習課長(安藤孝市)、生涯学習課長補佐(石川律子)、文化課長(坂口信治)、
文化課文化財保護推進室長(原孝徳)

書記

教育総務課総務係長(大久保恵子)、教育総務課総務係員(赤坂夏歩)

4 案件

(1) 議決事項

議案第39号 飯塚市教育委員会事業評価結果(令和3年度分)

(2) 報告事項

報告第24号 令和4年第4回飯塚市議会定例会の結果について

報告第25号 サイエンスモール in 飯塚 2022 の実施報告について

(3) 協議事項

教育行政について

◆令和4年第11回教育委員会会議 定例会 会議録

(開催日時：令和4年10月17日(月) 16時05分～16時30分)

○上田委員

ただいまより令和4年第11回教育委員会会議 定例会を開会いたします。

■議案第39号 飯塚市教育委員会事業評価結果(令和3年度分)

《説明：教育総務課長(梶原康治)》

議案第39号「飯塚市教育委員会事業評価結果報告書(令和3年度分)」についてご説明申し上げます。

議案書の1ページをお願いいたします。提案理由といたしまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、令和3年度に実施した教育に関する事務の管理及び執行状況について、2名の外部評価者による点検・評価ヒアリングを行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表するため、本案を提出するものでございます。内容につきましては、別途配布しております報告書をお願いいたします。

報告書の1ページをお願いいたします。1ページには、点検評価をおこなう目的、教育委員会の組織などについて記載しております。2ページには教育委員の活動状況として、教育委員会会議の開催状況等と、3ページにかけまして研修会や学校訪問などの参加状況を記載しております。

4ページをお願いいたします。「IV 令和3年度事業評価」の「1 点検・評価について」は、飯塚市教育施策要綱に掲げた「主要施策」を達成するために取り組んだ主な事業を点検・評価の対象とし、各事業の達成状況について、教育大学教授1名と、元学校長1名の2名の方から、「A：達成している」、「B：概ね達成している」、「C：課題がある」、「D：事業見直しが必要」の4ランクで評価をいただいております。

「2 全体評価結果」につきましては、「学校教育分野5事業」、「社会教育分野5事業」の計10事業を点検評価の対象とし、それに対する集計結果を記載しております。

結果は、Aの「達成」が5事業、Bの「概ね達成」が5事業、Cの「課題がある」、Dの「事業見直し必要」と評価された事業はございませんでした。

5ページ、6ページにかけまして、外部評価者による講評をいただいております。まず、事業の点検・評価につきましては、事業の達成度等について、それぞれの所管課が自己評価を行っています。その自己評価の客観性を確保するため外部評価者からの評価をいただくもので、今回点検・評価した各事業の達成度・成果等については概ね適切に実施されているとの評価をいただいておりますが、令和3年度がコロナ禍であったことから、今後の事業展開においては、Withコロナにおける目標設定の考え方や、各事業に対する様々な課題などについて、ご意見や評価をいただいております。

次に、それぞれ「取組施策別評価結果」については、各事業それぞれヒアリングを実施し、意見等、評価を行っておりますが、主なものとしまして、まず7ページの学校教育分野から「1 新型コロナウイルス感染症対策の徹底」について、教育委員会で新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを作成し、すべての学校において、同一指針によりコロナの予防対策に取り組まれていることは評価できる、今後は、学校・保護者・地域と協力して、前向きにWithコロナに対する対策を進めてほしいとの評価をいただいております。

次に、9ページになりますが、「5 学校・家庭・地域・行政が一体となったコミュニティ・スクールの推進」については、今後、教育委員会がリーダーシップをとり、市内の全学校に学校運営協議会を設置することを目標としていただきたいとの意見をいただいております。

次に、10ページからの社会教育分野では、「6 いいつか市民マナビネットワーク事業の実施」について、飯塚市における生涯学習の特色ある事業の一つである。コロナ前の状況と比較するのではなく、Withコロナの中で、いつでも、どこでも、誰でも学べる環境を構築してほしい、学校や他の関係機関等との連携を図りながら取組を継続していただきたいとの意見等をいただいています。

13ページには、評価対象の学校教育5事業、社会教育5事業の評価結果等をまとめた「事務事業に係る点検・評価一覧表」を記載しております。

14ページからは、各所管課において作成しました点検及び評価シート10事業分を添付しております。この点検及び評価シートにつきましては、事業等の目的、内容、目標値、また取組状況や成果、今後の方向性等を各所管課において自己点検・評価を行い、この内容に基づき、外部評価者に先ほどの評価をいただいたものでございます。

最後になりますが、30ページからは、参考資料として、令和3年度の教育委員会会議における議案等の一覧表について添付しております。

この報告書にあります点検・評価の結果につきましては、今後、事業内容の工夫や改善等に反映させ、目標値の見直しを含め再検討し、更なる事業の充実を図って参りたいと考えております。

以上、簡単でございますが、議案第39号の説明を終わります。

○大隈委員

全体的に見てもAとBということで、すばらしい評価を受けたものだと嬉しく思っております。「防災教育の充実」という欄ですが、文科省の指針の中で生徒たちが主体的に防災の意識を高めて学習していくという項目もありますし、先生の意見の中でももっと防災カリキュラムを充実してやっていった方が良いという意見がありました。以前何年か前の管理職研修会で、東北大震災の後の石巻の大川小学校の悲劇と釜石の奇跡ということで、市の防災の元自衛官の方からお話をいただいたことを思い出しました。釜石の奇跡の中では、子どもたちが自ら学んで、大人の指示に従わないで自分達で避難をしていくことで、自分たちだけではなくて周りの大人たちも助けていったという話がありました。命を失われた方は大変気の毒でしたが、改めて原点に戻って、防災の意識を学んでいけたらいいなと思いました。それから今日私事ですが、青少年問題協議会がありまして、やはりまだまだ市内の犯罪発生はあります。その中で言われたのは、子どもたちが守られることだけではなくて、自分たちの身を守る術を身に付けてほしいというお話もございましたので、災害だけではなくて、身の回りの危険を意識して、自分たちを守っていく手段を身に付けていく教育をしていただきたいと思えます。

○高石委員

大隈委員さんもおっしゃったように、飯塚市の教育委員会事業が、Cの「課題がある」が1つも無く、全ての事業において、達成もしくはおおむね達成と評価をいただき嬉しく思っております。今後の見直しの可能性として、学校、家庭、地域、行政が一体となったコミュニティ・スクールの推進ということで、飯塚市でもコミュニティ・スクールの推進されてきているところですが、さらなる対策がとれるような方向で検討して下さったらなと、先ほどの防災教育の充実と併せて要望させていただきます。

(原案可決)

■報告第24号 令和4年第4回飯塚市議会定例会の結果について

《説明：教育部長(山田哲史)》

報告第24号「令和4年第4回飯塚市議会定例会の結果」につきましてご報告させていただきます。

議案書の2ページをお願いいたします。令和4年第4回飯塚市議会定例会が、令和4年9月5日から令和4年

9月28日までの24日間開催されました。そのうちの教育委員会関係の議案及び一般質問事項を次のページから掲載しております。

3ページをお願いいたします。1の議案につきまして、議案第70号「令和4年度 飯塚市一般会計補正予算（第5号）」及び議案第78号「損害賠償の額を定めること及びこれに伴う和解（嘉飯地区中学校新人バレーボール大会での負傷事故）」が提出され、いずれも原案どおり可決されています。

また、認定第1号「令和3年度 飯塚市一般会計歳入歳出決算の認定」及び認定第11号「令和3年度 飯塚市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定」については、いずれも承認されています。

次に、一般質問事項につきましては、2の一般質問事項に記載のとおり、7名の議員からそれぞれご質問がありました。

これらにつきましては、市議会会議録を後日配布させていただきますので、詳細につきましてはその折にご確認いただきますようお願いいたします。

以上、簡単ではございますが、報告を終わります。

○大隈委員

田中議員さんがAEDの設置について質問されていますが、学校では玄関や職員室付近に設置していると聞いております。学校の目的外使用で体育館を地域の方等が使う際に、万が一AEDを使わないといけない状況になった時にどうするのかなという疑問があつて、体育館にも設置した方がいいのではと思います。

○教育総務課長

目的外使用につきましては、そもそも学校現場に支障がない時に活用するということがスタンスとしてあります。ただし、AEDにつきましては、緊急を要するものでありますし、今回の議案に伴いまして調査した結果、やはり校舎の玄関の中に設置していることが多くありました。そうなると体育館から緊急の際にそこまで駆けつける時間もかかりますし、玄関の中であれば校舎内に入れないという可能性もありますので、次年度以降につきましては、そこを改善する方向で、当然予算が伴うことですが、その方向で前向きに検討しています。

○大隈委員

安心しました。これからは開かれた学校ということで、児童・生徒だけでなく、地域の方も多く利用されることを視野に入れておいたほうが良いと思いますので、ぜひよろしくをお願いいたします。

■報告第25号 サイエンスモールin飯塚2022の実施報告について

《説明：生涯学習長(安藤孝市)》

報告第25号「サイエンスモールin飯塚2022の実施報告について」報告いたします。議案書の5ページから6ページをお願いいたします。

今年度で11年目となります本事業は、科学技術の恩恵の享受者であり、担い手でもある子どもたちが、科学をおもしろいと感じ、理科好きになるように、また、科学を身近な自分の問題として考えることができる子どもたちを育成することを目的として実施しております。

9月17日（土）及び18日（日）に、イヅカコミュニティセンターにおいて、「理科読」「リフレッシュ理科教室」「科学広場」の3つのイベントが一堂に会した総合科学イベント「サイエンスモールin飯塚2022」を開催いたしました。

一日目の理科読では、「水ってなに？」をテーマとし、「水に関するクイズ」や「本の読み聞かせ」、「水中シャボン玉実験」を行いました。

また、リフレッシュ理科教室では「光のふしぎ」をテーマに、福岡大学、鹿児島大学、九州大学の先

生方を講師として「カチャカチャライト2」「光通信」「CD分光器」の3つの実験工作を実施し、貴重な体験とお話をお伺いすることができました。

二日目の「科学広場」は、科学をテーマとした7つの体験ブースを実施する予定でしたが、台風14号の影響に伴い中止いたしました。

9月17日（土）の一日のみの開催となったことから、参加者は78人となりましたが、参加した子どもたちに、科学の面白さや不思議さを体験する場を提供することができました。

以上、簡単でございますが、報告といたします。

■教育行政について

（継続審議）

○上田委員

以上をもちまして、本日の全ての議題の審議は終了いたしました。

これをもちまして、令和4年第11回教育委員会会議 定例会を閉会いたします。

なお、次回定例会につきましては、令和4年11月22日（火）10：30からです。